

海外事情研究所 書評会

於 海外事情研究所 会議室

(研究講義棟 4 階 427 号室)

10月2日(水)

10:00~11:00

仙波希望 「<平和>を宣伝するー 1942 年の『宣伝技術論』についての試論」

11:00~12:00

金子彩里香 「地図から消えた街ーコザから見る基礎経済ー」 沖縄国際大学文学部社会学科

石原ゼミナール『戦後コザにおける民衆生活と音楽文化』(1994)

14:00~15:00

鈴木紫野 「増悪表現規制に関する必読書」 内野正幸『差別的表現』(1990)

10月9日(水)

10:00~11:00

山下恵理 「Nicholas Mirzoeff, *Silent Poetry: Deafness Sign and Visual Culture in Modern France*

(1995) を読む」

10月23日(水)

10:00~11:00

高際裕哉 「文学から文化研究へ、文化研究から文学へーブエノスアイレスの周縁的モダニティ」

Beatriz Sarlo, ""Una modernidad periférica: Buenos Aires 1920 y1930""

11:40~12:40

トフタミルザエヴァ・マシファラホン 「ウズベキスタンにおける教育改革の展望と課題ー関啓子

『コーカサスと中央アジアの人間形成ー発達文化の比較教育研究』を読んで」

17:00~18:00

小松悟 「19 世紀末のヨーロッパにおける男性性とそのゆらぎ

ーマーク・ミケール『男性とヒステリー』を手がかりにー」

10月30日(水)

12:00~13:00

川崎恵子 「余暇と労働から考察する、女性の意識と役割

ー Kathy Peiss, *Cheap Amusements* を読んでー

※どなたでも参加できます。申し込み不要